

Smart-Writer SW-1 コントロールソフト (Windows 用)

Ver 2.7 取扱説明書

動作環境 Windows 7/Vista/XP / 2000 / Me / 98 / 95 / NT4.0 の動作するパソコン (※1)
(NT4.0 の場合はハードディスク 3 以上が必要)
(Windows95 でバージョンが「4.00.950」の場合にはハードディスク 1 以上が必要)
CPU : ペンティアム 100MHz 以上
メモリ : 32M バイト以上

インストール 添付 CD-ROM 内のフォルダ (SW1Win) の中の SW1Win.EXE をダブルクリックしてください。
後はその指示にしたがってください。

なお Windows95 の場合には、DCOM95 がインストールされていない場合には、先にフォルダ (DCOM95) の中の DCOM95.EXE (マイクロソフト製) をダブルクリックして DCOM95 をインストールしてから SW1Win をインストールして下さい。

アンインストール 「スタート→プログラム→SW1Win→アンインストール」の順に選択しダイアログボックスで「自動アンインストール」を選択してください。

起動方法

SW-1 を添付のシリアルケーブルでパソコンの COM ポートに接続するか、USB シリアルアダプタを経由して USB に接続して、SW-1 の電源を入れてから、画面左下の 「スタート→プログラム→SW1WIN」の順にクリックすれば起動します。

最初の起動時には COM ポート番号入力ウィンドウが表示されますので、SW-1 を接続した COM ポート番号 (1~9) を入力してください。以降は前回の終了時と異なる COM ポートに接続した場合だけ COM ポート番号入力ウィンドウが表示されます。

操作方法

操作方法是一般的なウィンドウズアプリケーションと同じですが、メニューの並び順とステータスの表示内容は SW-1 の DOS 版のコントロールソフトと同じになっています。したがって、DOS 版ソフトと異なる部分のみ以下に列記します。他は SW-1 の取説かコントロールソフトのヘルプをごらんください。

1. “現在の設定値パネル”により、再実行時のコマンドとパラメータ、実行回数の確認ができます。詳細はヘルプをご覧ください。
2. マクロファイルの設定により、繰り返し処理を含む自動実行が可能。詳細はヘルプをご覧ください。
3. フラッシュメモリ選択時の“消去”は F8 キーではなくメニューの中に現れます。
4. 115200bps 以上の通信速度に対応した拡張シリアル通信ボードや USB シリアルアダプタ等を使用した場合には 460800bps まで設定可能になります。設定できない場合には 115200bps に戻ります。
5. “ファイルを開く”ダイアログボックスの中の“ロードオフセット”は HEX ファイルの途中からロードする場合に入力します。指定したアドレス以降の内容がバッファの 0 番地からロードされ、それ以前の内容は無視されます。
6. “ファイルを開く”ダイアログボックスの“ロードアドレスをデフォルト値に適用する”のチェックボックスをオンにすると、“読み出し”以外の全ての処理で、範囲入力を省略した場合のデフォルト値にロードファイル範囲が適用されます。ただし、範囲が ROM レンジよりも大きい場合には ROM レンジが適用されます。
7. ベリファイは高速モードと詳細モードが選択できます。詳細モードでは全てのデータを 1 バイトずつ比較します。高速モードでは ROM レンジを 32 分割し、バッファとチェックサムが異なる領域だけ詳細モードでベリファイします。どちらのモードでも正確にベリファイできますが高速モードではデータの偶数/奇数を入れ替えた場合等、その領域内のチェックサムが等しい場合には NG になりません。
8. 一部のフラッシュメモリーでは“セクター保護/解除”コマンドボタンが表示されます。
9. メニューバーのオプションの“編集画面”のチェックをはずすと編集画面が表示されなくなります。
10. 編集画面の縦/横サイズは(1行 x 1 バイト)から(40行 x 40 バイト)まで変更できます。
11. データを値により 16 段階に色分けできます。この機能はデータテーブルの編集に便利です。
12. シリアル EEPROM と 58FV64x 及び i82802A はウィンドウズ版のみ対応しております。

※1) Windows Vista 以降の OS の場合には、インストール後に以下の作業が必要です。

1. Sw1Win のアイコンを右クリックして「Sw1Win のプロパティ」を開く
2. 「互換性」タブを開く
3. 「互換モードでこのプログラムを実行する」と「管理者としてこのプログラムを実行する」をチェックする。

この作業は、一度行えば大丈夫です。

※2) SW1WinUS.EXE は英語版ウィンドウズ用 SW-1 コントロールソフトです。

使い方は日本語版と同じですが、ヘルプはありません。